

[4番 小澤奈帆さん登壇]

○4番(小澤奈帆さん) 皆さん、こんにちは。私は道悦一丁目に住む小澤奈帆と申します。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。

今回の女性議会には、市の行政がどんなふう構成されているのか興味があったことと、自分たちのより良い暮らしのために想いを声に上げることで島田市とのパイプをつくっていききたいという思いから、勇気を出して参加をさせていただきました。

私は二児の母親でもあり、子どもたちを相手にダンススクールを主催しております。子どもたちに、もっと芸術に触れる機会を提供していただき、多くのことを学び、感じ取ってほしいという想いから、まずは市の芸術文化に対する次の点についてお聞きしたいと思います。

まず(1)としまして、島田市において現在、子ども向けに行われている文化的な講演会やイベントはどのようなものがありますかという点です。

次に(2)といたしまして、今後も子ども向けの事業を増やしてほしいと考えていますが、現在どのような計画があるのかを教えてくださいです。

(3)としまして、子どもばかりではなく、年代に適した文化事業も行なってほしいと考えていますが、市の計画や考え方についてお聞かせください。

次に質問の2番目としまして、放課後児童クラブについて質問させていただきます。共働きの若い親御さんが増え、小学生の放課後の安全のため児童クラブを利用する御家庭が増えています。我が家の二人の小学生も日ごろから大変お世話になっていますが、周りのお友達の中には待機児童もおり、同じように働く母親として胸を大変痛めております。市内の放課後児童クラブの運営について、定員オーバーをして大変苦労されているクラブがほかにもあると聞いています。そこで、現状を教えてくださいと思います。

最後に質問の3としまして、白岩寺公園のトイレについてお伺ひします。白岩寺公園に設置されているトイレは、古い旧式のタイプが使用されています。この公園は市民が散歩をしたり、小学生や幼児の遠足やハイキングなどで利用されるなど、多くの市民が訪れる公園です。市民からは、このトイレを使用する際ににおいなどが気になり、使用を控えているとの声をよく聞きます。公園を訪れる方のためにエコトイレなどを設置する必要があると考えますが、市はどのように考えているのかお伺ひします。

(1)としまして、白岩寺公園内のトイレは幾つあるか、また、トイレはいつ設置されたものか教えてください。

(2)としまして、白岩寺境内にあるトイレは設置後、長い年月が経過していることから、トイレ周辺ではにおいが滞るため使用を控えているケースがあるので、エコトイレの導入など環境に配慮したトイレにすることは可能でしょうか。

(3)としまして、ハイキング、ウォーキングや小学生や幼児など多数の人たちが訪れていますので、坂道の途中にトイレを追加することは可能でしょうか。

以上、私の質問とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

[4番 小澤奈帆さん発言席へ移動]

○議長(紅林 貢議員) 染谷市長。

[市長 染谷絹代登壇]

○市長(染谷絹代) では、小澤さんの御質問にお答えをいたします。

1の(1)、1の(2)、1の(3)につきましては教育長から答弁をさせ、私からは2と3について答弁をさせていただきます。

では、最初に2の質問についてお答えをいたします。放課後児童クラブの利用状況につきましては、平成27年6月現在、島田第四小学校、初倉小学校、初倉南小学校、五和小学校、六合小学校及

び六合放課後児童クラブりんごの6カ所のクラブで定員をオーバーしております。そのため緊急措置として近隣施設をお借りし、できる限り児童を預かっておりますが、それでもなお4カ所のクラブで合わせて13人の待機児童となっております。

次に、3の(1)の御質問についてお答えをいたします。白岩寺公園内のトイレの数につきましては、簡易的なトイレが2カ所設置してあります。具体的なトイレの位置につきましては、市道岸元島田線沿いの白岩寺公園駐車場内と山頂から200メートルほど下がった白岩寺の境内となっております。また、設置された時期につきましては、公園駐車場は平成17年、白岩寺の境内は平成13年に設置され、双方のトイレとも10数年ほどが経過しております。

次に、3の(2)の御質問についてお答えをいたします。風致公園である白岩寺公園につきましては、自然の中で見晴らしの良い景色などを楽しむことができますので、年代にとらわれず幼児から高齢者の人たちがハイキング、ウォーキングや日の出を見るために訪れております。白岩寺境内に設置してあるトイレにつきましては、快適に使用ができるトイレを目指し、今ある施設の修繕やエコのトイレの更新を検討してまいりたいと考えております。

次に、3の(3)の御質問についてお答えをいたします。白岩寺公園を訪れる人たちは、ハイキングやウォーキング等の利用が多く、公園内に滞りしない利用の形態となっております。そのため、現在設置してある2カ所のトイレで対応が可能と考えますので、坂道の途中にトイレを新たに追加することは考えておりません。

以上、御答弁を申し上げます。

以下、教育長に答弁をさせます。

○議長（紅林 貢議員） 濱田教育長。

〔教育長 濱田和彦登壇〕

○教育長（濱田和彦） 市長に続き小澤さんの1の

(1)の御質問についてお答えをします。昨年度は幼稚園児と保育園児の合同演劇鑑賞会や、市内の高校生を対象とした演劇教室を開催しました。また、小・中学校では夢ふくらむ文化活動推進事業交付金を使い、市内全小学校の5年生を対象とした劇団四季の観劇会や、音楽家を招いた演奏会、和文化にかかわる講演会など文化的な活動を行っています。そのほかに子どもたちも参加した音楽とダンスコンテストを融合した島田ミュージックフェスティバルや、ロシアのカンティレーナ合唱団と島田市の子どもたちとの合同コンサートなども開催しました。このように子どもたちが芸術に触れることにより文化に興味を持ち、感性を育むための事業を積極的に行っています。

次に、1の(2)の御質問についてお答えします。子どもの時代に質の高い芸術に触れることは、豊かな心を持った人間を形成していく上で大変重要であると考えております。今年度も、昨年を引き続き観劇会などの子ども向けの事業を行いたいと考えています。また、新たな試みとして世界的に活躍している音楽家をお招きして、子どもたちへの音楽教室の開催も検討しております。

次に、1の(3)の御質問についてお答えします。年齢世代に沿った事業実施の希望についても、市民の皆様の御意見を伺いながら幅広く開催していきたいと考えております。しかしながら、舞台芸術を中心とした鑑賞型事業は高額な経費がかかることから、今までのように開催することが難しくなっている現状があります。このような状況を踏まえ、市といたしましては「街角コンサート」のようなさまざまな年代の市民が参加できる事業を実施していきたいと考えています。

以上、答弁申し上げます。

なお、再質問につきましては担当部長から答弁させる場合がありますので、よろしく申し上げます。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） 御丁寧にお答えいただきまして、ありがとうございました。

1について再質問をさせていただきたいと思えます。

まず初めに芸術、文化に関するのですが、島田市が考える文化振興の考え方を教えてください。

○議長（紅林 貢議員） 畑教育部長。

○教育部長（畑 活年） 市の文化振興についての考え方ですが、これまでは、小・中学生、こうした世代の方が芸術に触れる、そうした機会といたしまして、著名な方を招聘してのコンサートや講演会、こうしたものを開催しておりました。ただ、先ほど教育長のほうから答弁させていただいており、こうしたやり方は、経費がかなりかかってくるということもございますので、市といたしましては、これまでの見るだけの鑑賞型のイベントという開催ではなく、市民参加型といいますか、市民が参加して行政がそれに対して協働してサポートしていくという形の自主事業を展開して、そうした形を通しまして、文化振興の原動力となります市民文化力の向上を目指していきたいと考えております。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） 御答弁ありがとうございました。先ほど教育長のお話にもありました「街角コンサート」という名前が出てきたのですが、具体的にどのような事業か教えてください。

○議長（紅林 貢議員） 畑教育部長。

○教育部長（畑 活年） 「街角コンサート」というのは、平成27年度、今年度から新規という形でスタートする事業でございます。詳細につきましては、現在、内部で調整をしているところであります。基本的には市でリースした音響機器、こうしたものを市民自らが企画し、出演する活動を行っている団体等にその機器を貸し出しまして、そうして活用していただくという事業でございます。

す。そうしたことによりまして、市民の文化力の向上と、同時に賑わいといいますか、各世代間の交流等も含めて促進を図っていきたいと考えております。

ただ、この事業につきましては先ほど申し上げましたように、今年度から取り組む事業でありますので、今後については、いろいろと実施内容を検証いたしまして、島田市独自の文化事業について研究していきたいと考えております。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） はい、ありがとうございました。

「街角コンサート」、とてもすごく素晴らしい事業で、ダンスもやっている私としては、すごくわくわくしてくるようなネーミングなのですが、このような「街角コンサート」をこれから行っていく場合において、広報活動などはどのように行っていくのでしょうか。

○議長（紅林 貢議員） 畑教育部長。

○教育部長（畑 活年） 広報活動ということの御質問でございます。基本的には講演会や演奏会などの事業の御案内につきましては、先ほどもありました広報しまだとかFM島田、あるいは市のホームページへ掲載したり、例えば、おおるりなど指定管理者に委任しているところの施設につきましては、その指定管理者が「月刊おおるり」という冊子を発行したりしております。あとポスターとかチラシを配布して啓発を行っているところであります。こうしたことが一般的な広報の手段ということになります。

ただ、こうしたことだけではなかなか足りないというか、隅々までそうした広報が行き渡らないというようなこともございますので、口コミという形で、例えば、小澤さんのダンススクールの中で受講されている方に、そうしたことの情報を流していただいて、広めていただくということも非

常に有効な手段であると考えておりますので、いろいろな各関係団体にこういった御協力をいただきたいと考えているところであります。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） では、今後の活動に期待をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

もう一つ、夢ふくらむ文化活動推進事業というお名前が先ほど教育長の答弁からありましたが、具体的な事業内容を教えていただきたいと思えます。

○議長（紅林 貢議員） 畑教育部長。

○教育部長（畑 活年） 夢ふくらむ文化活動推進事業ということの内容についての御質問でございます。これは各小・中学校が実施する次世代を担う児童・生徒の豊かな心を育み、未来に向かって夢を膨らませることができる文化活動に對しまして、その小・中学校の活動に對しまして市のほうから交付金を交付しているものでありまして、例えば、具体的な内容といたしましては、島田市や近隣の出身のプロの打楽器奏者、山本晶子さんとか、あと落語家の三遊亭遊喜さん、そうした方々に来ていただいて演奏だとか演技をやっていただく。あるいはその後に、これまで歩んできた学生時代の逸話だとか生き方につきまして語っていただいて、皆さんに夢を膨らませていただくというような中身の授業を行っているところであります。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） ありがとうございます。

それでは、次に放課後児童クラブについて再質問をさせていただきたいと思えます。定員オーバーをしているクラブがあるとお聞きしましたが、今後の拡充予定などはありますでしょうか。

○議長（紅林 貢議員） 今村こども未来部長。

○こども未来部長（今村重則） 小澤さんの放課後

児童クラブについての質問にお答えさせていただきます。現在、定員をオーバーしているクラブから順次整備を進めております。具体的には初倉地区や六合小学校区及び現在、放課後児童クラブがない川根地区について段階的に整備を予定しております。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） はい、ありがとうございました。ぜひ拡充をよろしく願いいたします。

続きまして、白岩寺公園のトイレについて再質問をさせていただきたいと思えます。これまでに、このトイレに関しての要望はほかにもございましたでしょうか。

○議長（紅林 貢議員） 安原都市基盤部長。

○都市基盤部長（安原正明） これまでトイレに関しての要望があったかという御質問にお答えします。同所のところについては今年の1月に、やはりエコトイレを白岩寺公園の山頂または地藏山周辺に設置してほしいという要望が1件出されております。そのほかに公園全体では、やはりそういう老朽化した公園とか、そういったものの修繕という要望は随時ございます。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） ありがとうございます。

それでは、そのトイレを計画した場合に、どの程度の規模のトイレになりますでしょうか。また、どんなタイプがあるか教えてください。

○議長（紅林 貢議員） 安原都市基盤部長。

○都市基盤部長（安原正明） 同所においてトイレを新たに計画する場合というのはいろいろなケースが考えられますけれども、全体としては男女兼用のトイレが1カ所、あと男性用が1カ所という計2カ所が適当だと思えます。具体的なタイプは、一般的には合併浄化槽タイプとかエコ的なタイプ、また仮設的なタイプが挙げられると思いま

す。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） はい、ありがとうございました。そのトイレを設置する場合、費用がかかると思うのですが、どれぐらいの費用がかかるのでしょうか。

○議長（紅林 貢議員） 安原都市基盤部長。

○都市基盤部長（安原正明） 先ほどのタイプで申しますと、男女兼用1カ所、また男性用1カ所というタイプでは、本体の運搬費を含めまして、全体で300万円程度の設置費用が必要となります。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） ありがとうございました。とても大きなお金が動くということで、すぐにはトイレを改善、設置とは無理だともお伺いしましたけれども、白岩寺公園だけではなく、その他の公園のトイレの設置に対する計画などはあるか、教えてください。

○議長（紅林 貢議員） 安原都市基盤部長。

○都市基盤部長（安原正明） 現在、新たに公園の中にトイレを設置するという計画は具体的にはございませんけれども、先ほど市民からの要望で、今、既存のトイレで、その辺の修繕的な要望はありますので、そういったものは更新を含めまして維持修繕、そういったものに皆さんがある意味快適にトイレを利用できるような状況を進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（紅林 貢議員） 小澤さん。

○4番（小澤奈帆さん） はい、ありがとうございました。

発言時間が残り1分ということで、私の持ち時間をぎりぎり使わせていただきました。今日はとても貴重な体験をさせていただきまして、ありがとうございました。